

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	18	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 交通安全マスコット制作と配布 (2) 地域の幼稚園等訪問
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 1年生「家庭基礎」の実習として実施。地域住民の本校生への期待や思いに触れ、地域への帰属意識を高める。 (2) 3年選択科目「保育」の実習として、保育・幼児教育分野進学希望生徒が地域の現場を体験し、本校が目指す「温もりのあふれる生徒」の育成につなげる。
連携・協働相手	(1) 生駒警察署 (2) いちぶちどり保育園、壱分幼稚園
地域と共有している目標・課題等	地域の多様な主体との交流により、家庭や地域社会の今日的な課題について理解を深め、地域課題解決の視点を育成する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 「家庭基礎」の実習として交通安全マスコットを制作。生駒警察署と連携し、生徒が生駒駅周辺で歩行者に交通安全及び交通マナーを呼びかけ、コミュニケーションをとりながら交通安全マスコットを配布した。 (2) 「保育」の現場実習を通じて地域の園児や職員と交流し、家庭や地域社会の教育力が子どもの育ちに影響するという今日的課題についての理解を深めた。	

2. 事業の成果と課題

学校近隣地域と継続した交流や取組が年々地域に認知され、一定の評価を得ていると実感できる。参加した生徒は規範意識や温もりのある地域社会の構築への意識を向上させることができた。今後も取組の内容を生徒の主体的な意見や工夫により見直しを図るとともに、生駒市などの行政や地域の自治会との連携をさらに深めながら、幅広い分野で地域と連携を行う取組を構築していきたい。

